

平成30年度第2回「松阪市地域公共交通協議会」議事録

日時 平成30年6月18日(月) 10:00～

場所 松阪市役所 5階 正庁

【出席委員】加藤博和、山本勝之、塚本麻衣、辻宣夫、田中正明、加藤静香、大井秀寿、森本臣紀、鳥田茂、西出みはる、中村五男、田中和子、岡田るみ子、伊藤繁明、羽田勇人(代理)、片岡靖、阪井正幸、廣田昇、村林篤

【関係者】三重交通株式会社、嬉野タクシー有限公司、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局

【事務局】商工政策課 課長：川村浩稔 主幹：久保忠秀 係：山中省真、奥田葵

《協議事項》

1. 平成29年度松阪市地域公共交通協議会決算について
2. 平成30年度松阪市地域公共交通協議会予算について
3. 平成29年度松阪市運営公共交通実績について
4. 平成29年度三重交通路線松阪営業所管内利用者実績について
5. 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価(第三者評価委員会)結果について
6. 平成31年度補助分生活交通確保維持改善計画の策定について
7. 三雲たけちゃんハートバスの変更について
8. 飯南コミュニティバスほほえみの変更について
9. 三重交通「栗野農協前」バス停上屋設置について
10. 作業部会の継続協議案件について
 - ①鈴の音バスの路線変更案について
 - ②運賃の見直しについて
11. 第二次松阪市地域公共交通網形成計画の策定について

《協議内容》

事務局

只今より、松阪市地域公共交通協議会を開催させていただきます。本日の協議会は、委員の出席が19名、欠席が2名で出席委員が過半数に達しますので、規則第8条第2項により、協議会の開催が成立していることをご報告申し上げます。

また、規則第8条第3項の規定により、出席委員の内、代理出席が1名あり、委任状を提出していただいておりますことをあわせてご報告申し上げます。

それではここからの議事進行につきましては、規則第7条に基づき、会長にお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。

会長

それでは、議題1から進めていきます。平成29年度の決算についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局（「平成29年度松阪市地域公共交通協議会決算について」資料に基づき説明）

会長

こちらは決算ですので監査報告があります。監査委員から報告をお願いします。

委員

報告させていただきます。平成29年度の収支決算については、松阪市地域公共交通協議会設置規則第14条第3項の規定により、関係帳簿ならびに証拠書類を監査した結果、その執行は正確であったことを認め報告いたします。

会長

ありがとうございます。国交省からフィーダー系統についての補助金が入り、それを支出したというものになります。何か質問はございますか。特になければこれでお認めいただいたものとさせていただきます。

続いて、議題2の平成30年度の予算についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局（「平成30年度松阪市地域公共交通協議会予算について」資料に基づき説明）

会長

30年度の予算について説明をいただきました。何かご質問はございませんでしょうか。特になければお認めいただいたものとさせていただきます。

続いて、議題3、議題4、議題5について事務局から説明をお願いします。

事務局（「平成29年度松阪市運営公共交通実績について」資料に基づき説明）

事務局（「平成29年度三重交通路線松阪営業所管内利用者実績について」資料に基づき説明）

事務局（「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価（第三者評価委員会）結果について」資料に基づき説明）

会長

議題3は三重交通さんから提供いただいた資料ですので、三重交通さんから何かございませんか。

委員

事務局の方から説明をいただいたところですが、この表について説明させていただきますと、この表の値は推計で出しております。この推計というのはどのように出したかと申しますと、ICカードの利用状況あるいは定期券の発行状況等を加味した上で算出したものになります。南紀特急線のみ若干増えておりますが、平成28年度は尾鷲津線というのがあったのですが、平成29年度は無くなりましたので、尾鷲センターを利用される方が南紀特急を使っていたということが影響しているのかなと推測しています。今後は松阪市内の各バス停での利用状況をみる為に、OD調査等を市さんの協力も得ながら進めていきたいと思っています。

会長

何かございますか。

委員

松阪市地域公共交通実績の評価基準についてですが、運賃収入に関しては利用者が増えれば増えていくものになっていると思いますが、この60歳人口100人当たり1日利用者数というのは、変化がないし、向上する余地もないんです。評価の中にバツが多いとあまりいい気持ちにはなりません。今後は評価基準に関しても検討をしていただかないと、この状態ですと現在バツのところは変化が無いのでいつまでたってもバツです。

事務局

評価基準につきましては、網形成計画に基づいて評価しているものですが、その評価の基準や数値については、今年度新たに策定する計画の中で、検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

会長

60歳人口100人当たり1日利用者数の評価基準に関しては、60歳以上の人口が増えると値は下がるし、利用者が増えれば値が上がるので、変わらないものということはないと思います。毎年、少しずつですが値が着実に増えている路線もあります。値を小数点以下2桁まで表示するともっと変化がわかります。目標値が高すぎるのが問題かなと思います。沿線人口の取り方の問題もあります。GISを使って、バス路線から半径500m以内で沿線人口を取ることにも出来るが作業が非常に大変。以前に60歳の方はまだバスに乗らないのではないかという話も出ましたが、70歳になってからいきなりバスに乗るのは容易ではないので、早くからバスに慣れてもらうために60歳ぐらいから

乗ってほしいという意味を持たせているというのもあります。今後どういう指標がいいのか、またどういう指標ならやる気が出るのかを次の綱計画では考えていかなければならない。例えば、今は一律で目標を決めているが、現状の1割増やすとか、5パーセント増やすとかにすれば地域ももっと頑張れる。できれば目標についても地域で考えてもらえるといいと思います。

平成29年度は全体で見るとコミュニティバスの利用者は増えている。飯南は大きく減ですので少し目立っていますね。あと、宇気郷のバスは3年も利用者がいないのであればもうやめた方がいいのではないのでしょうか。3年も誰も使わないのであればないも同然という気がします。ちょっと一度考えて頂いた方がいいと思います。

続いて、議題6について事務局から説明をお願いします。

事務局（「平成31年度補助分生活交通確保維持改善計画の策定について」資料に基づき説明）

会長

何かご意見ご質問等ございませんでしょうか。ではこの内容で計画を提出することに関して異論はございませんでしょうか。ありがとうございます。ではこの計画は運輸支局に見てもらって、おかしなところがあれば訂正してもらって、その上で提出させていただくこととなりますのでよろしくをお願いします。

続きまして、議題7につきまして、事務局の方から説明をお願いします。

事務局（「三雲たけちゃんハートバスの変更について」資料に基づき説明）

会長

この議題に関しては松阪警察の方から、コメントいただけますでしょうか。

松阪警察署

交通管理者としてはバスの乗降時を含め停車時に事故が無いようにということをおまえて検討させていただきました。嬉野見永の件に関しましては新しいバス停の位置はほぼ直線の道路上にあり、前後の見通しが一番とれるということからこの場所を選ばせていただきました。五主方面に関しては、ごみ集積所の前の土地がバスの停車には十分であり、交差点付近ですが安全に運行ができるのでそのままの場所とさせていただきました。プライスカットの件ですが、伊勢中川駅方面に関しては事務局より田中自動車工業様のご協力をいただけるというお話をいただきましたので、交通量の多い県道沿いではありますが、乗降時には道路から離れて敷地内に入るということで、この場所を薦めさせていただきました。五主方面に関しましては、貸倉庫がある土地が候補地となっていますが、この場所にバスを停める場合、敷地と路肩の間に停める形になりますが、安全が確保できれば停めることも可能ということで、交通管理者としてはこの場所を薦めさ

せていただきました。この二件に関しましては、停止時および乗降時に車道に利用者が降りることがないことから、この場所を進言させていただきました。

会長

ありがとうございます。プライスカットのバス停の移動は一時的なものになります。また元に戻るということでよろしいのでしょうか。

委員

補足説明させていただきます。プライスカットが店舗を改装することになり、店舗が西側に移動するので、バス停の位置についても新しくなります。店舗名もオークワに変わるので、バス停名の変更も必要になってくるかと思えます。新しいバス停の位置に関しては、バスを待つ方が雨に濡れないような位置で検討させていただきたいと考えています。

会長

プライスカットの五主方面のバス停については、警察の方と引き続き協議して位置を確定していただくこととなります。何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。無いようですので、お認めいただいたとさせていただきます。まだ決まっていない部分に関しては鋭意やっていただきたいと思います。決まりましたら報告をお願いします。

では続きまして、議題8につきまして事務局から説明をお願いします。

事務局（「飯南コミュニティバスほほえみの変更について」資料に基づき説明）

会長

何かご質問はございませんか。

委員

資料に乗車人数10人、乗客人数も10人とあるが運転手を入れると乗客人数は9人になるのでは。

事務局

基本的には助手席にはお客さんを乗せていないので、乗客人数は8名の間違いです。訂正させていただきます。申し訳ございません。

会長

助手席は全く使えないのでしたか。

事務局

基本的には助手席にお客さんを乗せることはないのですが、路線によってはお客さんが多い時は助手席に乗って運行しているということもあるようです。

会長

新しいバスは何色ですか。ラッピング等はするのですか。

事務局

バスは白色です。ラッピングではないのですが、マグネットのシートを飯南用に作りましてバスの車体に貼り付けて運行したいと考えています。

会長

子供たちに車体に絵を描いてもらうのも面白いかなと思います。

事務局

新車両が走る時に簡単なセレモニー等を考えております。

会長

その時に利用促進につながるような何かができればいいですね。何かございませんか。

委員

飯南は人口が減ってきていて、利用者が減ってきているので、利用者を増やすにはどうすればいいのか考えなければならない。先日の飯南の運行協議会でも、路線や時刻について、現在利用している方々がどこに行きたいかということ聞いた上で協議をしていかなければならないという意見が出ました。利用者を増やしたいですけど、80代でも現役で車をバンバン運転しているというのが現状ですので、なかなか難しいところもあるのかなと思いました。

会長

このようなバスがあるのを知らないというのは少し問題があると思う、使える時はバスを使おうということになればいいと思うので、ぜひ、新車両導入のセレモニーの際は飯南の皆さんに広く知ってもらうための大きな宣伝をしていただけたらと思います。

では、この件につきまして、ご異論はありませんか。無いようでしたら、お認めいただいたとさせていただきます。

続きまして、議題9について、事務局の方から説明をお願いします。

事務局（「三重交通「栗野農協前」バス停上屋設置について」資料に基づき説明）

会長

これは松阪駅方面の停留所になりますね。管理は地元ですか。

事務局

基本的に日常の管理は飯高コミュニティバスの運行事業者の株式会社たかみにしてもらいます。修繕等が必要になった時の費用は市の方でも負担したいと考えています。

会長

何かご質問等はありませんか。無いようですので、続きまして、議題10について、事務局から説明をお願いします。

事務局（「作業部会の継続協議案件について」資料に基づき説明）

会長

鈴の音バスをもう一台増やして、現在、市内で手薄になっているところをカバーする。鈴の音バスは済生会方面になるべくいかない方が、本数は増やせるが、朝は無視できないぐらい済生会方面に行く人がいて、その人たちは松阪駅から乗るのではなく、松阪駅の西側方面から乗っている人が多いので、ルートを分断してしまうとまずいことになる。済生会方面に行く便を減らすけど必要な分は回すということになる。運賃に関しては、もし仮に200円にすると、今まで私が経験した例でいうと、利用者が約3割減るので、簡単に上げるというのは難しい。200円だと三重交通の初乗り運賃よりも高くなるので注意が必要。あと、1日乗車券とか、定期券の発行とかも考えていかなければならないですね。三重交通路線が鈴の音バスの路線のエリアに入っており、現在は同じぐらいの距離でも、三重交通の方の運賃が高くなっています。運賃に関しては予算的なこともありますのでまだわかりませんが、ご意見をいただきたいと思います。

鈴の音バスのデザインに関してですが、現在は右回りと左回りでデザインが違いますが、あまり知られていないです。新ルートに関しては、全然違うルートを通るので、今までみたいに違いが分かりにくいものではまずいと思います。

では、この件につきまして、ご意見ご質問等はありませんでしょうか。

委員

大口線と新しい鈴の音バスの路線を一台で回るということですが、できれば、鈴の音バスの回る時間と大口線を回る時間を分けていただきたいというのが一つと、松阪駅からアドバンスモールまでのルートはお祭りの時によく通行止めになるので、できれば、あらかじめ迂回ルートを設定しておいていただくと、その時に慌てなくていいのかなと思います。もう一つが、鈴の音バスのデザインが今は多少違うのですが、現在もスーパ

ーなどで右回りと左回りが同じ向きでバス停に停まる時があり、けっこう間違える方が多いです。デザインはなかなか変わらないと思いますが、できれば、大きなステッカーに色を付けて貼っていただくとお客さんは色で判断して、間違いも少なくなるのではと思います。新車両についても色の違いを付けた方がわかりやすいと思いますので、よろしくをお願いします。

会長

バスの車体の前と後ろに色のついたステッカーを貼るだけでも、だいぶ間違いが少なくなると思います。名称についても考えていかなければなりません。みなさんも何かいいアイデアがありましたら事務局にご連絡ください。運賃に関しては、何かご意見ございませんか。

委員

鈴の音バスと三重交通バスの路線が重なっているところがありますが、そういう場合やはり、運賃が安い鈴の音バスを皆さん利用されるので、三重交通バスの利用者が少なくなってしまう。なので、やはり運賃を同じにしてもらった方がいいかなと思います。現在、中央病院行きの三重交通バスは多くの方が利用されています。もし、運賃を同じにできるのであれば、バスの本数が増えたと考えることになりますので、料金設定の検討をよろしくをお願いします。

会長

地域間幹線の利用促進ということもあるので、地域間幹線で松阪駅に来た人が、歩いて市民病院や中央病院に来るとは考えにくい、また、そこで180円で乗り継ぐというのもなかなか厳しいので、何かできないかなと思っています。

委員

新しいバスの名称はどうなるのでしょうか。

事務局

事務局の方でいくつか案を出させていただいて、みなさんで議論していただいて決めていきたいと考えております。

会長

他に何かございますか。では続きまして議題11について、事務局の方から説明をお願いします。

事務局（「第二次松阪市地域公共交通網形成計画の策定について」資料に基づき説明）

会長

計画の中にある課題とか目標について、今後このようなことを考えるべきとかを今、言っていただきたいです。基本的方針について考えていく中で、現在、公共交通の認知度が低すぎるという問題があります、松阪市は公共交通が大事だからみんな使おうという意識は低いと考えているので、今度の計画の中でそこをどうやって理解してもらうのか大事なと思います。モビリティマネジメントについても、ただ乗ってもらうだけではなく、意識を変えていくということが大事です。出かける時に車の鍵を持って出かけるだけではなく、その時、頭の中に公共交通で行くという選択肢が出てくるように意識を変えていけるといいですね。

この件につきまして、何かご意見・ご質問等はありませんか。

委員

先日、子供が初めてバスに乗ったのですが、乗り方がわからなかったと言っていました。子供の内から、バスに乗る習慣があれば大人になっても乗り続けると思いますので、子どもに対するバスに乗る促進活動のようなものをしていけたらいいのではないかと思います。

会長

おっしゃる通りですね。今だと親御さんでもわからない人がいますよね。バスの停留所に運賃は後で払ってくださいとか、後ろから乗って整理券を取ってくださいとか、書いておくといいですね。

委員

以前、クラギ文化ホールからバスに乗って帰ろうと思って、検索したところ文化会館前というバス停が出てきたので、クラギ文化ホールの前のバス停で待っていたのですが、全然バスが来なかったので、バス停の名前を確認したところ、鈴の音バスは「クラギ文化ホール」で、三重交通バスは「文化会館前」となっていた。両方とも施設の近くにあるバス停なのにバス停の場所が全然違うので、そのあたりの表示をもう少しわかりやすくする必要があるのではないかなと思いました。

会長

確かにあの場所は間違いやすいですね。施設にも、三重交通バスはこっちで、鈴の音バスはあっちということを書いておく必要がありますね。書いておくとうようなバスがあるんだと思ってもらって、バスを使ってもらえる確率が上がる。間違いやすいバス停に関しては今後しっかりと点検していく必要があると思います。新ルートの「西林」のバス停も南紀特急と同じバス停を使うことになるので、方向が全く別のものになるので、バス停にわかりやすく表示していく必要があります。

利用してくれそうなのに知らないから利用しない人がいると非常にもったいない。全く利用しない人にも意識だけは持ってほしい。基本方針とかはわからなくてもいいですが、自分は乗らないけど乗っている人がいて、乗っている人の為に税金でしっかり支えながらこのようなバスが走っているということぐらいは知ってほしいです。さらに言うと、税金で走っているのであれば、自分も乗ってみようかなと思ってもらい、習慣的に使ってもらえればとてもいいと思います。この辺のことをどうやって意識を高めていくか、あと、そうなるように停留所の案内とかダイヤであるとか運賃体系であるとか行き先をきちんと見直していく、これは三重交通バスとコミュニティバスとタクシーも含めての話です。

あと、観光地の行き方についてわかりやすくするというのも必要なと思います。例えば、松阪城に行くのにバスで行くところで、タクシーで行くところで、徒歩で行くところでというのが、松阪駅ですぐにわかるようになっていけばいいなと思います。

では、網形成計画につきましてはとりあえずこういう方針でいきまして、名古屋大学も協力していきます。どうして名古屋大学が入るかという、コンサルさんが入ると、どこのコンサルさんが作ったかわかるぐらい、コンサルさんの計画のようになってしまいます。松阪市の場合はオリジナルな、市民の皆さん自身が腑に落ちるような計画になるようにやりたいです。住民懇談会をやるということですので、私もできる限り参加したいと思っていますのよろしくお願いします。何か気づいたことがあれば、私か事務局にご連絡ください。

何かご意見等ございますか。無いようでしたら、この件についてもお認めいただいとさせていただきます。

本日の議題については全て終了となりました。それでは事務局の方にお返しします。

事務局

会長、ありがとうございました。最後にその他でございますが、事務局については特にございません。何かございませんでしょうか。無いようですので、これをもちまして、平成30年度第2回松阪市地域公共交通協議会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。